

テーマ：2011年1-3月期GDP予測（改定）
発表日：2011年5月12日（木）
～前期比年率▲2.7%と、2四半期連続のマイナス成長を予想～

 第一生命経済研究所 経済調査部
 主席エコノミスト 新家 義貴
 TEL:03-5221-4528

○ 家計消費状況調査の下振れを受けて予測値を若干下方修正

2011年1-3月期の実質GDP成長率（5月19日公表予定）は前期比年率▲2.7%（前期比▲0.7%）を予測する。当社は、4月28日の段階で前期比年率▲2.4%（前期比▲0.6%）を予想していたが、その後公表された経済指標の結果を反映し、若干の下方修正を行った。名目成長率の予想も前期比年率▲3.0%（前期比▲0.8%）と、従来予測値（前期比年率▲2.7%）から下方修正した。

5月10日に公表された11年3月分の家計消費状況調査の結果を反映して再推計を行った結果、個人消費が前期比▲0.5%と、従来予測値の同▲0.3%から下方修正されたことの影響が大きい。また、本日公表された3月分の国際収支統計において、サービス輸出入が筆者の想定を上回ったことから、輸出が前期比+0.4%（従来予測値：同▲0.2%）、輸入が同+1.6%（従来予測値：同+1.2%）と、4月28日時点での予測値からそれぞれ上方修正となった。結果として、外需寄与度（前期比）は▲0.1%ポイント（従来予測値：同▲0.2%ポイント）と若干の上方修正である。その他の需要項目については変更はない。

1～2月までの景気は底堅く推移しており、震災がなければプラス成長が展望できる状況にあったが、大震災の影響により3月の経済活動が急激に冷え込んだ結果、2010年10-12月期に続いてマイナス成長になったものと予想される。

（需要項目ごとの予測値の詳細と解説は、Economic Indicators「2011年1-3月期GDP予測」（4月28日発行）をご参照ください）

2011年1-3月期GDP予測

(%)	
実質GDP	▲ 0.7
(前期比年率)	▲ 2.7
内需寄与度	▲ 0.5
(うち民需)	▲ 0.6
(うち公需)	0.1
外需寄与度	▲ 0.1
民間最終消費支出	▲ 0.5
民間住宅	1.0
民間企業設備	▲ 1.8
民間在庫品増加(寄与度)	▲ 0.1
政府最終消費支出	0.7
公的固定資本形成	▲ 1.2
財貨・サービスの輸出	0.4
財貨・サービスの輸入	1.6
名目GDP	▲ 0.8
(前期比年率)	▲ 3.0

※断りの無い場合、前期比(%)
 (出所)内閣府「国民経済計算」